

令和2年8月17日

教職員各位

学長 田野 俊 一

大学院入試の新型コロナウイルス感染防止策について

大学院入試（8月18日）の実施にあたり、学力試験当日の新型コロナウイルス感染防止策をお知らせします。

1. 教職員のマスク、手袋、フェイスシールドの着用

試験監督、試験本部、正門・検温担当者は、マスク、手袋、フェイスシールドを着用する。

2. 受験生への事前周知

- ・ マスクの着用を求める。
- ・ 構内での食事を不可とする。
- ・ 他の受験生との不要な会話を控える。
- ・ 試験終了後は速やかに帰宅するように促す。
- ・ 指定された試験室以外の建物への立ち入りを禁止。
- ・ ゴミは持ち帰る。
- ・ 接触確認アプリの利用を推奨。
- ・ 試験日も含めて14日以内に罹患した場合に、入試課に連絡する。

3. 試験会場の対策

- ・ 受験生が密にならないよう各試験室の受験生の数を教室の定員の1/3～1/4程度とした。
- ・ 試験室は換気設備が設置されているが常に窓を開け、十分な換気を行う。
- ・ 試験室に消毒液、予備のマスクを準備。
- ・ 試験開始前、終了後の試験室、トイレは業者による消毒を行う、またトイレは試験中にも2回消毒を行う。
- ・ トイレで密にならないよう注意を促す掲示を行う。

4. 健康調査票の作成

- ・ 受験生の試験前日及び当日の朝の体温と当日の朝の健康状態を記載した健康調査票の回収、確認を行う。
- ・ 調査票を忘れた者は講堂ロビーで検温を行い、「健康調査票」を記入させる。
- ・ 当日、37.5℃以上の発熱、その他の症状（咳、咽頭痛、倦怠感、息苦しさ）のいずれかに該当がある場合は講堂で検温を行い、保健管理センターへ誘導する。

5. 保健所への連絡

8月18日に学内で入学試験を実施する旨を連絡。感染の疑いが高い受験者がいた場合に指示を受けることとしている。

6. 体調不良の受験生への対応

- ・ 医師が待機。
- ・ 体調不良の受験生が密にならないよう救護所を保健管理センターとB棟ロビーに設置。
- ・ 感染の疑いがある受験生のPCR検査の結果判明まで本学が滞在場所を確保。

7. 受験生の時差出構

試験終了後、まず、10人を退出させ、その後、1分待ってから次の10人を退出させること、駅から本学まで複数のルートを示すことにより、受験生が密になることを防ぐ。

8. 時間を置いた採点

採点は安全を期すため36時間の間隔を設け、20日の午後から開始する。